



環境省

漂着ゴミについて考える。

私たちの海を守るには？

海は生命のゆりかごであると同時に、漁業、海運、レジャーなど、私たちの生活に欠かせない場となっています。いま、海岸に流れ着いたゴミにより、私たちの海やそこに暮らす生き物たちに様々な影響が及んでいます。かけがえのない海を守るために、私たちは何をすればいいのでしょうか？



知っていましたか、



海岸に流れ着いたゴミ

漂着ゴミとは？

海に流れ込んだプラスチック等のゴミは、海岸に流れ着いたり、海底に堆積しています。これらはなかなか分解されずにたまっていく一方、波や紫外線により劣化して細かい破片に変わっていきます。多くの場合、ゴミの発生する場所と流れ着く場所が異なっていることが問題となっています。また、このようなゴミの回収・処理には大変な手間とお金がかかります。

漂着ゴミによる影響

漂着ゴミにより、以下のような影響があると考えられます。

！ 景観やレジャーへの影響

- ・美しい景観を損なう。
- ・海水浴を楽しむのに邪魔になる。
- ・観光への影響が懸念される。

！ 漁業や海運への影響

- ・漂流しているゴミや海底に堆積したゴミが、漁網に絡んだり、漁獲物に混入する。
- ・漂流しているゴミが船の安全な航行を妨げる。

！ 安全な暮らしへの影響

- ・医療系廃棄物やガラス破片などにより、人に被害が及ぶおそれがある。



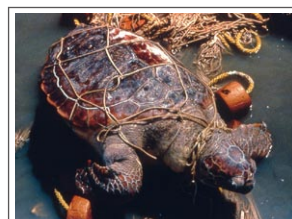
海岸に流れ着いた医療系廃棄物



電球。割れているものもある

！ 海洋生物への影響

- ・海洋生物の体に絡まる。
- ・海鳥などが誤って飲み込む。



漁網が体に絡まってしまったウミガメ
写真提供: JEAN/クリーンアップ全国事務局



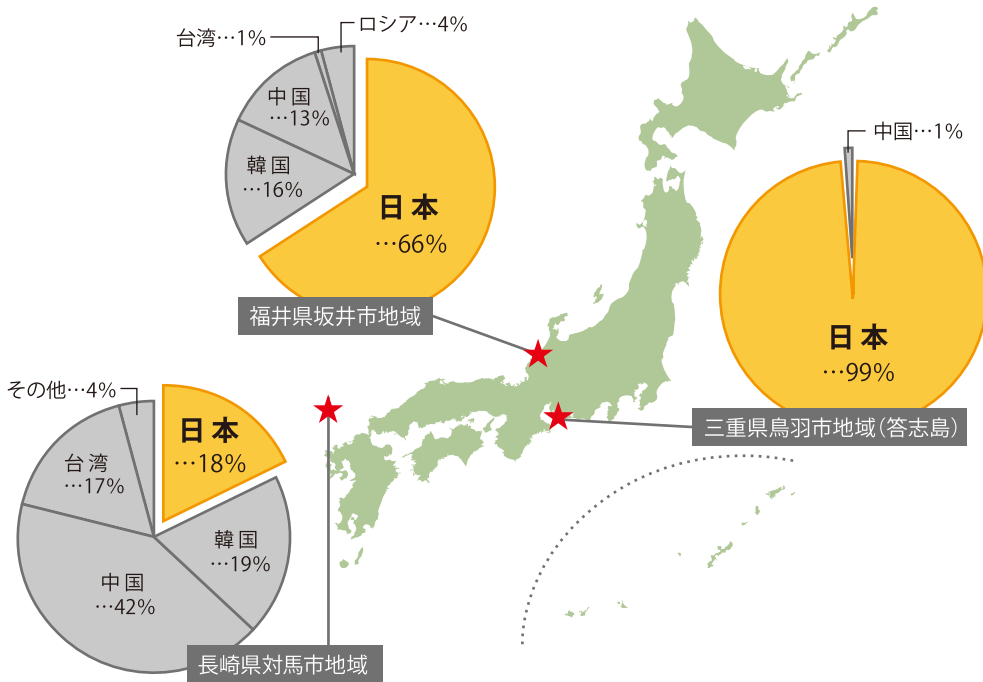
海鳥のヒナ3羽の死骸から発見されたゴミ
写真提供: JEAN/クリーンアップ全国事務局

私たちの海の悲しい現実。

海を汚していたのは、私たちのゴミだった。

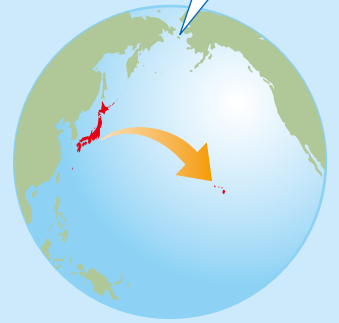
環境省のモデル調査により、海外から流れ着くゴミが多くを占める海岸もありますが、ほとんどの海岸に見られるゴミの主な発生源は日本であることが明らかになりました。

■ 漂着ゴミ（ペットボトル）の国別割合



環境省 H19～20年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査より (生産国の不明分を除く)

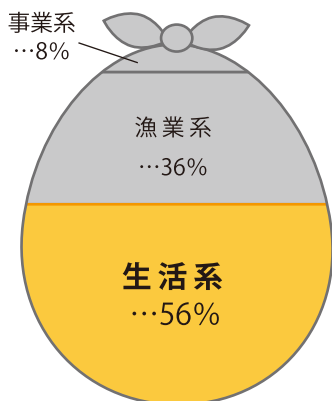
日本から流れ出たゴミの一部は、ハワイ諸島にまで流れ着いています。ゴミの多くは広い海を漂流し、回収不可能となっています。



海から離れた場所のゴミが、海までたどり着いている。

海岸に流れ着いたゴミは、生活系ゴミが多くを占めていることがわかりました。私たちの生活から出たゴミが、河川を通じて海に到達し、ほとんど分解されずにたまっているのです。

■ 漂着ゴミの種類別割合



生活ゴミでは、ペットボトル、食品の包装容器、化粧品容器、歯ブラシ、台所用品、文房具、おもちゃ、くつ・スリッパなどが多く見られます。



ペットボトル



食品の包装容器

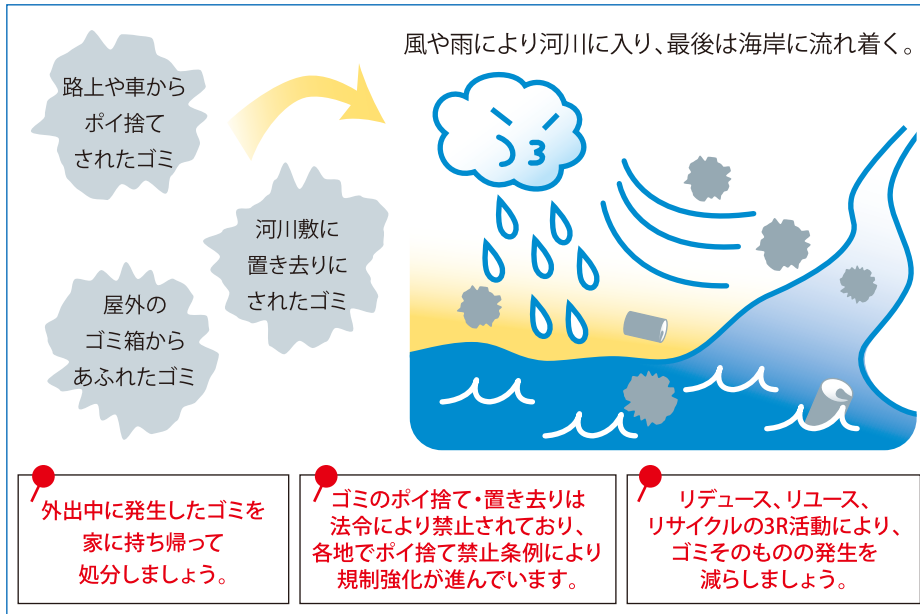


くつ・スリッパ

環境省 H19～20年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査より (7県11海岸の調査結果の合計、ただしプラスチック等の破片を除く)

ゴミを発生させないこと、発生したゴミはきちんと処分することが、漂着ゴミを減らすことにつながります。

どうして生活ゴミが海までたどり着くのでしょうか。例えば以下のような経路が考えられます。



日本各地の河川や海岸でボランティア活動による継続的なゴミ清掃が行われていますが、回収が追いつかないのが現状です。



写真提供: クリーン・ビーチいしかわ

あなたにもできること。

1 外で出たゴミは家に持ち帰って処分しましょう。

屋外でこんな経験ありませんか？

- ・ゴミ箱がいっぱいだったので、その脇にゴミを置いた。
- ・レジ袋に入れたまま、分別をしないでまとめて捨てた。
- ・フタの隙間から、側溝にゴミを「処分」した。

2 自分の生活から出るゴミを減らしましょう。

- ・使い捨てをなくす。 例: 容器は再使用できるものを選ぶ。
- ・包装はできるだけ少ないものを選ぶ。 例: 「詰め替え用」や「ばら売り」
- ・マイバッグを持ち歩いてみる。



できるところから少しずつ始めましょう。
一人一人のささやかな取り組みが、きれいな海を取り戻します。

もっと
知りたい人の
ために

- 環境省漂流・漂着ゴミ対策HP http://www.env.go.jp/earth/marine_litter/
- JEAN/クリーンアップ全国事務局HP <http://www.jean.jp/> (全国のクリーンアップ活動の情報も掲載されています。)
- 『海ゴミー拡大する地球環境汚染』 小島あずさ・眞 淳平, 中公新書
- 『海はゴミ箱じゃない!』 眞 淳平, 岩波ジュニア新書
- 『プラスチックの海ーおびやかされる海の生きものたちー』 佐尾和子・丹後玲子・根本稔 編, 海洋工学研究所出版部

環境省 地球環境局 環境保全対策課
廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課

TEL:03-5521-8245 FAX:03-3581-3348
<http://www.env.go.jp/> 平成21年3月発行